

県政モニターアンケート調査結果（結果の分析報告）
県政モニタートーク結果（県政モニターからの主な意見）
県政モニターアンケートについて
Webアンケート企画内容
職員アンケート企画内容

目次

1.県政モニターアンケート調査結果(結果の分析報告)	
(1)調査概要・回答者属性	P3
(2)問1～問12	P5
2.県政モニタートーク結果(県政モニターからの主な意見等)	
(1)県政モニタートークの概要	P20
(2)県政モニターからの主な意見	P21
3.県政モニターアンケートについて	P24
4.Webアンケート企画内容	P28
5.職員アンケート企画内容	P34

(1)調査概要・回答者属性

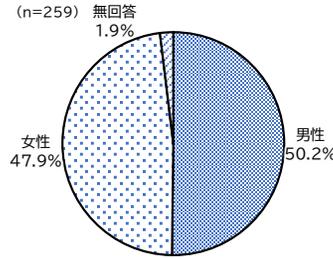
【県政モニターとは】

- 県がお届けする情報により、県政へのご理解を深めていただきながら、県民の皆さんのご意見やご提案をお聴きする制度
- 応募年度の4月1日現在で、次の全ての条件を満たすことが応募条件
 - ✓ 県内在住の満15歳以上の方
 - ✓ 県政に関心を持ちモニター活動ができる方
 - ✓ インターネットを利用してウェブサイトの閲覧、メールの送受信ができる方
- 活動期間は原則1年間(委嘱の日から3月31日まで)

- 調査趣旨 県庁舎の利用に関する実態把握や認知度等を調査し、今後の県庁舎等のあり方検討の参考情報とする
- 調査対象 県政モニター 300名
- 回答数 259人(回収率86.3%)
- 実施期間 令和7年9月9日~9月28日
- 調査方法 しがネット受付サービスにて回答を収集

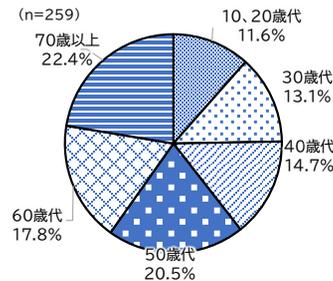
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	130	50.2
女性	124	47.9
無回答	5	1.9
合計	259	100.0



◆年代

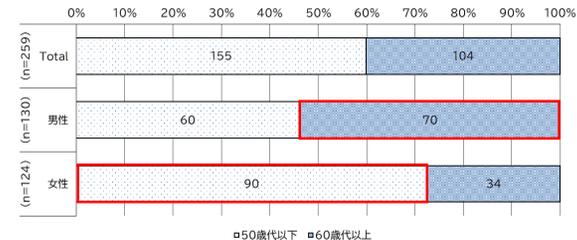
項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	30	11.6
30歳代	34	13.1
40歳代	38	14.7
50歳代	53	20.5
60歳代	46	17.8
70歳以上	58	22.4
合計	259	100.0



◆回答者の男女別年齢構成比

- 男性の回答者の60歳以上の割合が高くなっている。
- 女性の回答者の50歳代以下の割合が高くなっている。

	50歳代以下	60歳以上
Total	59.8%	40.2%
男性	46.2%	53.8%
女性	72.6%	27.4%
無回答	100.0%	0.0%



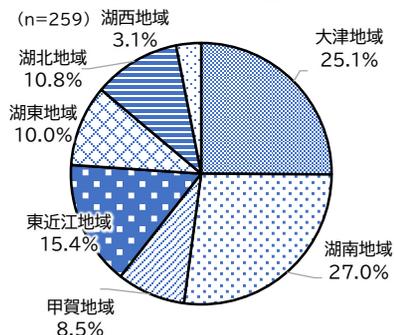
参考: 滋賀県の人口と世帯数(毎月人口推計調査)「令和7年10月季報1」における割合

- 50歳代以下 : 905,195 人(64.8%)
- 60歳代以上 : 459,188 人(32.9%) ※年齢不詳: 32,149 人(2.3%)

(1)調査概要・回答者属性

◆地域

	項目	人数(人)	割合(%)	割合(%)
県南部	大津地域	65	25.1	約76%
	湖南地域	70	27.0	
	甲賀地域	22	8.5	
	東近江地域	40	15.4	
県北部	湖東地域	26	10.0	約24%
	湖北地域	28	10.8	
	湖西地域	8	3.1	
	合計	259	100.0	



参考:滋賀県の地域別人口とその比率 ※2020年国勢調査結果より作成

地域	人口(人)	構成比率	構成比率
大津	345,202	24%	約75%
湖南	346,649	25%	
甲賀	142,909	10%	
東近江	226,814	16%	
湖東	155,375	11%	約25%
湖北	150,920	11%	
湖西	46,379	3%	

県北部

- 湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)
- 湖北地域(長浜市、米原市)
- 湖西地域(高島市)

県南部

- 大津地域(大津市)
- 湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)
- 甲賀地域(甲賀市、湖南市)
- 東近江地域(東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町)



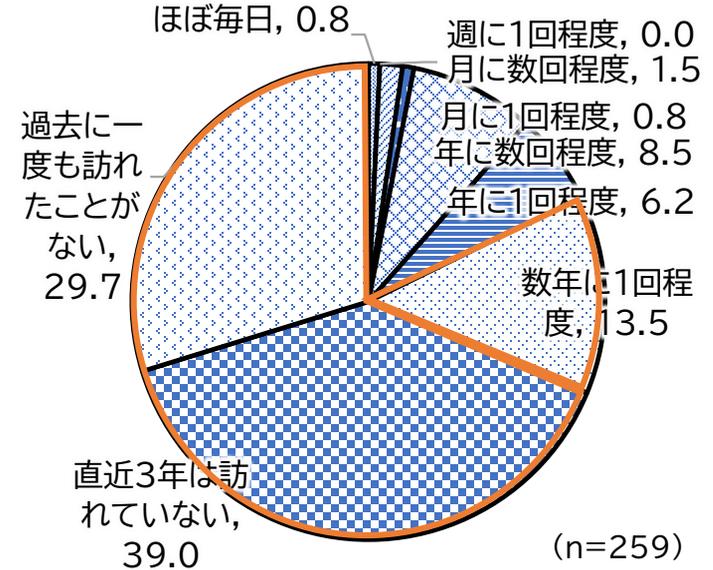
出所:県内の市町一覧 | 滋賀県ホームページ

(2)問1:来訪頻度 (直近3年・滋賀県大津市京町四丁目1番1号に所在する庁舎のみについて)

- 「直近3年は訪れていない(39.0%)」、「過去に1度も訪れたことがない(29.7%)」が全体の約7割を占める。
- 直近3年以内に県庁舎を訪問した人の中では「数年に1回程度」の訪問が最多となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	2	0.8
週に1回程度	0	0.0
月に数回程度	4	1.5
月に1回程度	2	0.8
年に数回程度	22	8.5
年に1回程度	16	6.2
数年に1回程度	35	13.5
直近3年は訪れていない	101	39.0
過去に1度も訪れたことがない	77	29.7
合計	259	100.0

直近3年以内に
県庁舎を訪問した
ことのある方(81名)



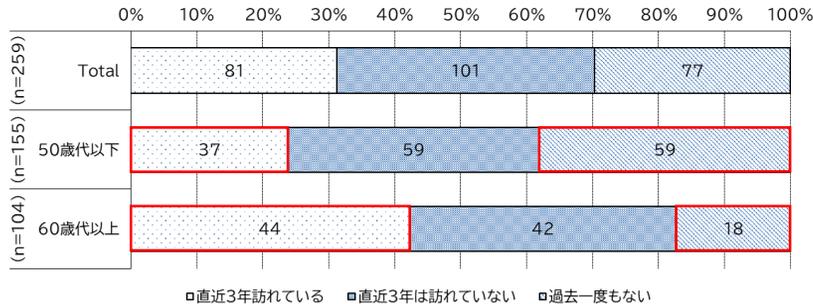
問2～8は、直近3年以内に県庁舎を訪問したことのある方(81名)の回答を抽出する。
問9～12は、県庁の来訪経験に関わらず全員に回答をいただく。

(2)問1:来訪頻度 (直近3年・滋賀県大津市京町四丁目1番1号に所在する庁舎のみについて)

さらに、年代別でみると

- 「直近3年訪れている」人の割合は比較的高齢の世代(60歳代以上)で特に大きくなっている。
- 「過去に1度も訪れたことのない」人の割合は、比較的若年の世代(50歳代以下)で特に大きくなっている。

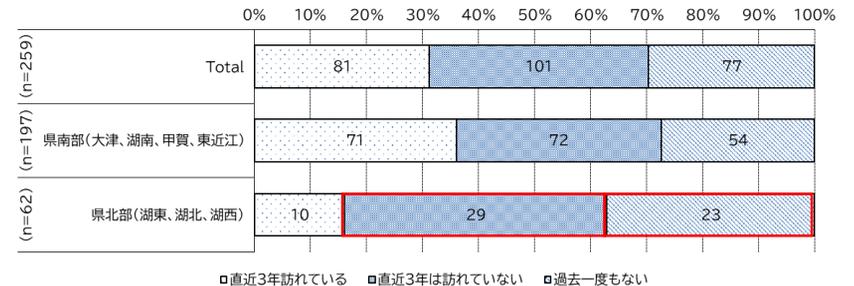
	直近3年訪れている	直近3年は訪れていない	過去一度もない
Total	31.3%	39.0%	29.7%
50歳代以下	23.9%	38.1%	38.1%
60歳代以上	42.3%	40.4%	17.3%



さらに、地域別でみると

- 滋賀県庁を「過去に1度も訪れたことのない」人の割合は、県北部側でより大きくなっている。
- 滋賀県庁を「直近3年で訪れたことはない」人の割合も、県北部側でより大きくなっている。

	直近3年訪れている	直近3年は訪れていない	過去一度もない
Total	31.3%	39.0%	29.7%
県南部(大津、湖南、甲賀、東近江)	36.0%	36.5%	27.4%
県北部(湖東、湖北、湖西)	16.1%	46.8%	37.1%

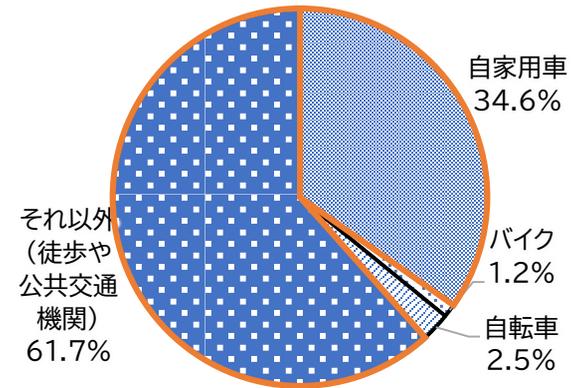


(2)問2:交通手段(最も利用頻度の高い交通手段)

- 「それ以外(徒歩や公共交通機関)」が最多(61.7%)となっている。
- 一方で、「自家用車」での来庁もかなりの割合(34.6%)がみられる。

項目	人数(人)	割合(%)
自家用車	28	34.6
バイク	1	1.2
自転車	2	2.5
それ以外(徒歩や公共交通機関)	50	61.7
合計	81	100.0

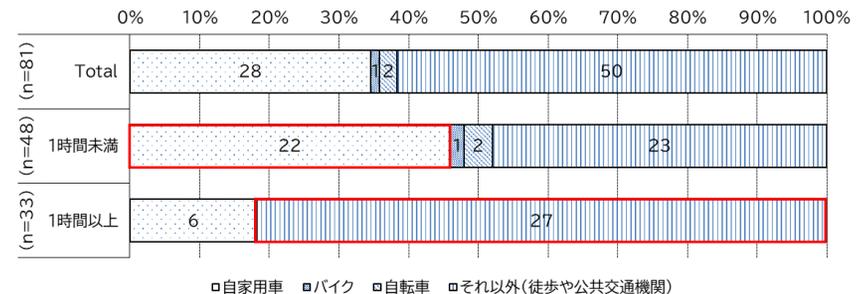
(n=81)



さらに、滞在時間別でみると、

- 滞在時間が比較的短い(1時間未満)人は自家用車を利用している割合が大きい。
- 滞在時間が比較的長い(1時間以上)人は「その他(徒歩や公共交通機関)」を利用している割合が大きい。

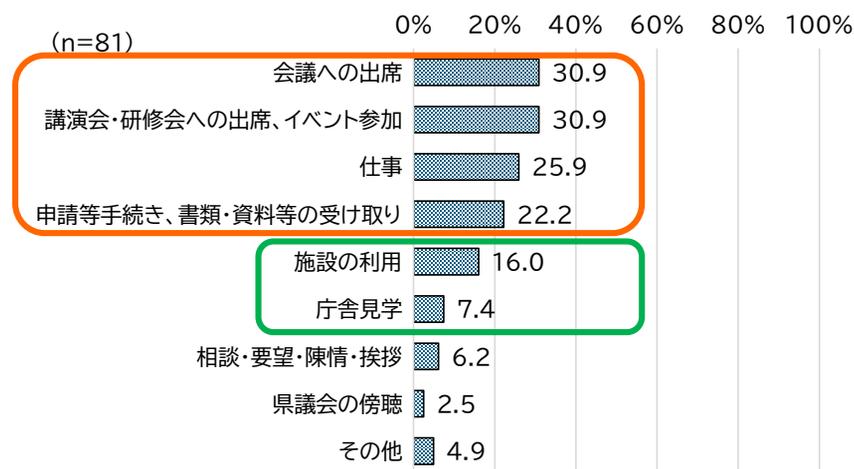
	自家用車	バイク	自転車	それ以外(徒歩や公共交通機関)
Total	34.6%	1.2%	2.5%	61.7%
1時間未満	45.8%	2.1%	4.2%	47.9%
1時間以上	18.2%	0.0%	0.0%	81.8%



(2)問3:来庁目的 (主な用件)(複数回答可)

- 来庁目的は突出して多い項目はなく、様々である。
- 「会議への出席」や「講演会・研修会への出席、イベント参加」がそれぞれ約3割で最も多く、次いで「仕事」(約26%)や「申請等手続き、書類・資料等の受け取り」(約22%)等の目的での来訪が上位となっている。
- 「施設の利用」や「庁舎見学」等、必ずしも行政に関わらない目的での来庁も一定数みられる。

項目	人数(人)	割合(%)
会議への出席	25	30.9
講演会・研修会への出席、イベント参加	25	30.9
仕事	21	25.9
申請等手続き、書類・資料等の受け取り	18	22.2
施設の利用	13	16.0
庁舎見学	6	7.4
相談・要望・陳情・挨拶	5	6.2
県議会の傍聴	2	2.5
その他※	4	4.9



※その他の回答一覧

- ・ ボランティア
- ・ 県職員の採用試験受験
- ・ 県政モニター会議で
- ・ 資料の閲覧、入手

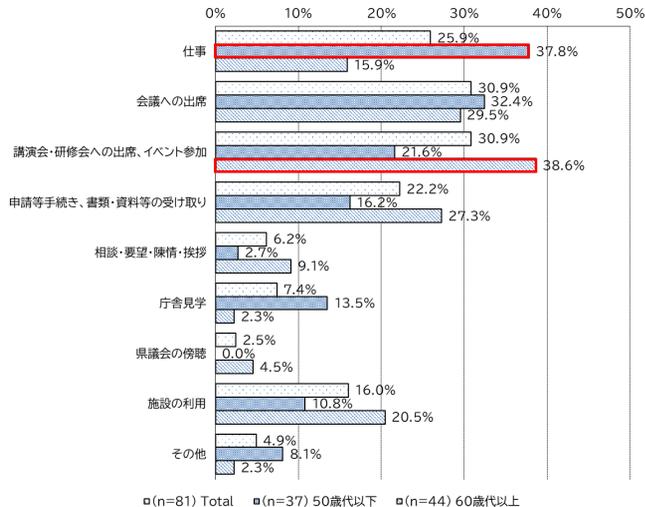
(2)問3:来庁目的 (主な用件)(複数回答可)

さらに、年代別でみると

- 「仕事」と回答した割合が比較的若年の世代(50歳代以下)で大きい。
- 「講演会・研修会への出席、イベント参加」と回答した割合が比較的高齢の世代(60歳代以上)で大きい。

	仕事	会議への出席	講演会・研修会への出席、イベント参加	申請等手続き、書類・資料等の受け取り
Total	25.9%	30.9%	30.9%	22.2%
50歳代以下	37.8%	32.4%	21.6%	16.2%
60歳代以上	15.9%	29.5%	38.6%	27.3%

	相談・要望・陳情・挨拶	庁舎見学	県議会の傍聴	施設の利用	その他
Total	6.2%	7.4%	2.5%	16.0%	4.9%
50歳代以下	2.7%	13.5%	0.0%	10.8%	8.1%
60歳代以上	9.1%	2.3%	4.5%	20.5%	2.3%

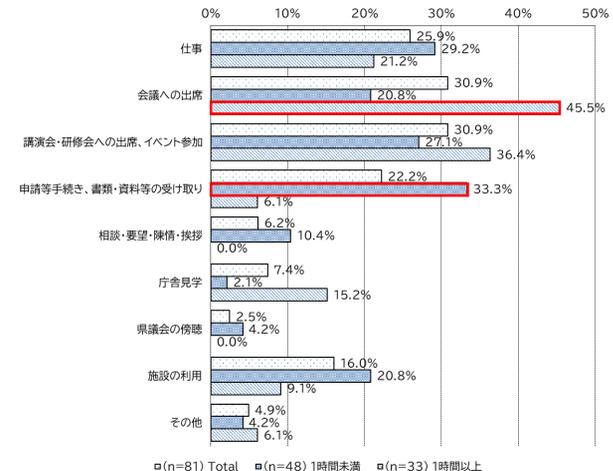


さらに、滞在時間別でみると

- 滞在時間が比較的短い(1時間未満)人の用件として、「申請等手続き、書類・資料等の受け取り」が滞在時間が比較的長い(1時間以上)人に比べて多い。
- 滞在時間が比較的長い(1時間以上)人の用件として、「会議への出席」が多い。

	仕事	会議への出席	講演会・研修会への出席、イベント参加	申請等手続き、書類・資料等の受け取り
Total	25.9%	30.9%	30.9%	22.2%
1時間未満	29.2%	20.8%	27.1%	33.3%
1時間以上	21.2%	45.5%	36.4%	6.1%

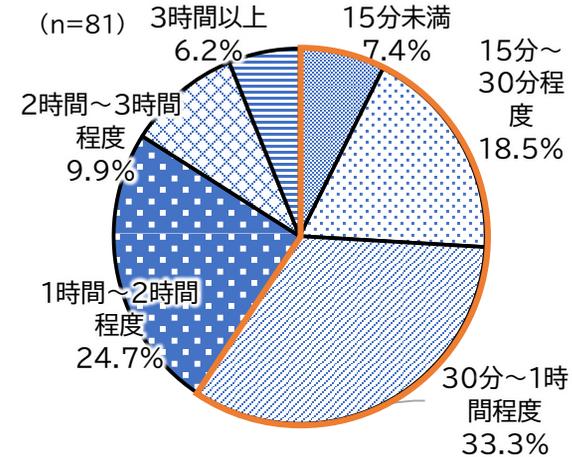
	相談・要望・陳情・挨拶	庁舎見学	県議会の傍聴	施設の利用	その他
Total	6.2%	7.4%	2.5%	16.0%	4.9%
1時間未満	10.4%	2.1%	4.2%	20.8%	4.2%
1時間以上	0.0%	15.2%	0.0%	9.1%	6.1%



(2)問4:滋賀県庁舎を訪れた際の平均的な滞在時間

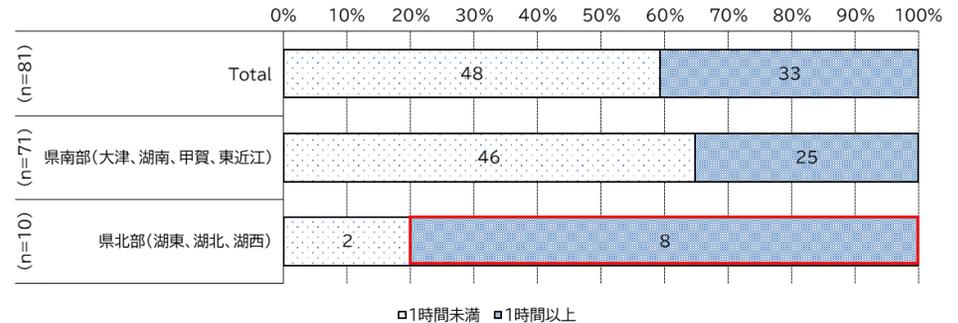
- 平均的な滞在時間は30分～1時間程度が最も多く、次いで1～2時間程度の滞在時間(約25%)となっている。
- 1時間未満の滞在が全体の半数を超え、比較的短時間の滞在が多くなっている。

項目	人数(人)	割合(%)
15分未満	6	7.4
15分～30分程度	15	18.5
30分～1時間程度	27	33.3
1時間～2時間程度	20	24.7
2時間～3時間程度	8	9.9
3時間以上	5	6.2
合計	81	100.0



さらに、地域別でみると、県北部側の方が滞在時間が長い。

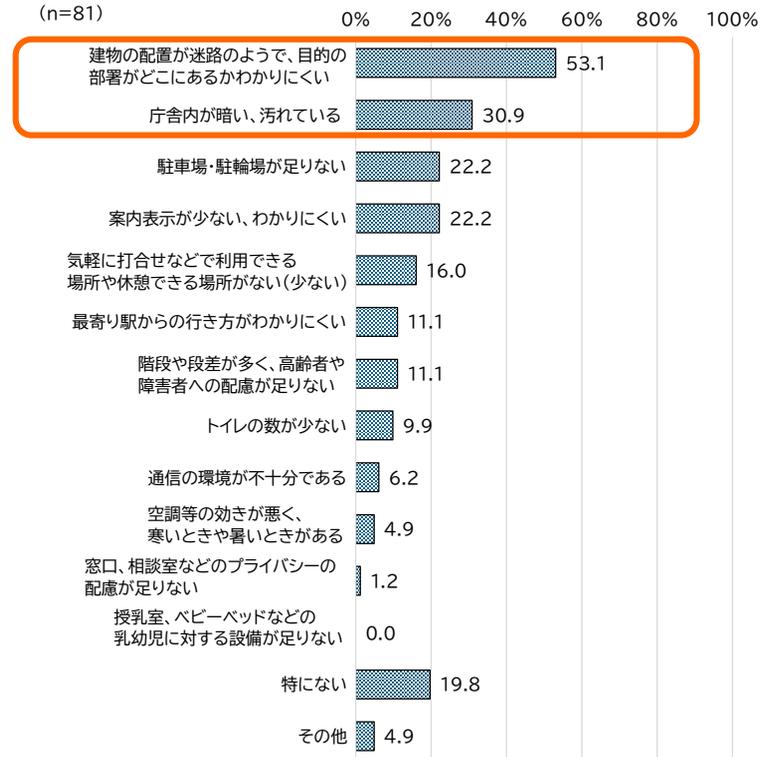
	1時間未満	1時間以上
Total	59.3%	40.7%
県南部(大津、湖南、甲賀、東近江)	64.8%	35.2%
県北部(湖東、湖北、湖西)	20.0%	80.0%



(2)問5:滋賀県庁舎を訪れた際に不満や不便に感じたこと (複数回答可)

- 約半数が「建物の配置が迷路のようで、目的の部署がどこにあるかわかりにくい」と回答している。
- 次いで、庁舎内が暗い、汚れているとの指摘が約3割となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
建物の配置が迷路のようで、目的の部署がどこにあるかわかりにくい	43	53.1
庁舎内が暗い、汚れている	25	30.9
駐車場・駐輪場が足りない	18	22.2
案内表示が少ない、わかりにくい	18	22.2
気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない)	13	16.0
最寄り駅からの行き方がわかりにくい	9	11.1
階段や段差が多く、高齢者や障害者への配慮が足りない	9	11.1
トイレの数が少ない	8	9.9
通信の環境が不十分である	5	6.2
空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある	4	4.9
窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない	1	1.2
授乳室、ベビーベッドなどの乳幼児に対する設備が足りない	0	0.0
特にない	16	19.8
その他※	4	4.9



※その他の回答

- ・ トイレの古さに関する指摘1件
- ・ 建物の老朽化に関する指摘2件

(2)問6:具体的に不便に感じた内容や改善方法等(自由記述)

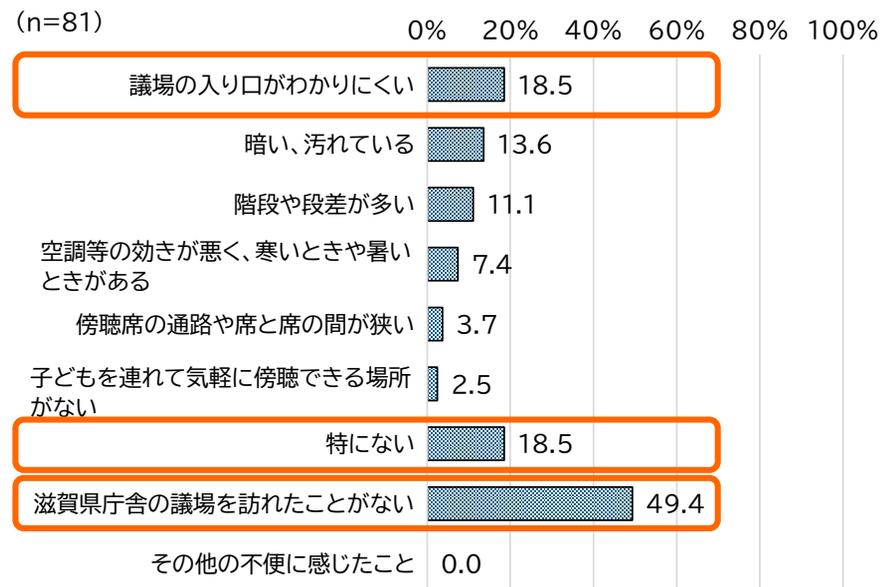
- 主なご意見は下記の通り

項目	内容
建物配置(19件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋が複数あってがわかりにくい。棟の名称・建物の入り口・連絡通路・トイレの位置等がわかりにくい。 ・ 庁内のマップを数多く設置して欲しい。
照明(4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎内が暗く雑然としている。
職員(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当職員には親切に対応して欲しい。 ・ 迷っている時等、防犯の観点からも、声がけしてもらおうと有難い。
縦割り組織(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本特有の縦割り組織に横ぐしを入れられるレイアウトにすべき。 ・ 相談内容に応じた、担当部署の分かりにくさがある。
Wi-Fi環境整備(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ wifi環境を整えて欲しい。
その他(10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古い建物を大切にすることは重要、残して欲しい。(3件) ・ 滋賀県のシンボルであり、他府県に誇れる庁舎を期待。 ・ トイレの設備の改善 ・ 食堂の充実 ・ タクシーの敷地内への入退場を可能として欲しい。 ・ ペーパーレスと整理整頓の推進 ・ 人の動きやすさ、時間効率、環境と省エネルギーなど改善が必要 ・ いろいろな、機能を備えて欲しい。 ・ 子育て世代も行きたくなる親しみやすい場所にして欲しい。 ・ 地形(琵琶湖・鈴鹿山脈をはじめとする山々)を生かした整備

(2)問7:議場について不便に感じたこと (複数回答可)

- 約半数が最近の来庁経験はあっても、議場を訪れた経験はないと回答した。
- 「議場の入り口のわかりにくさ」に関する指摘が最も多く(18.5%)、一方で、特に不便に感じたことはないとの回答も同数あった。

項目	人数(人)	割合(%)
議場の入り口がわかりにくい	15	18.5
暗い、汚れている	11	13.6
階段や段差が多い	9	11.1
空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある	6	7.4
傍聴席の通路や席と席の間が狭い	3	3.7
子どもを連れて気軽に傍聴できる場所がない	2	2.5
特にない	15	18.5
滋賀県庁舎の議場を訪れたことがない	40	49.4
その他の不便に感じたこと	0	0.0



(2)問8:議場について具体的に不便に感じた内容や改善方法等(自由記述)

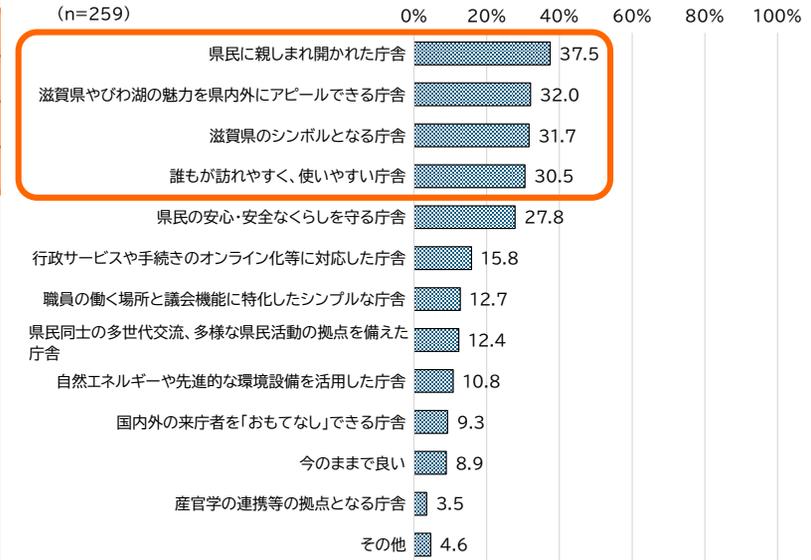
- 主なご意見は下記の通り

内容
• 先進的な設備がなく、情報化社会への対応が必要(2件)
• 議場への行き方が分かりにくい。狭い廊下とエレベーターの設備面も不十分
• 狭く暗い。オープンな議場を考える場合拡張性に乏しい。
• 段差や絨毯で移動がしにくい。

(2)問9:これからの滋賀県庁舎に期待すること (3つまで)

- 「県民に親しまれ開かれた庁舎」が最も多く、37.5%となっている。
- 続いて、「滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎」が32.0%、「滋賀県のシンボルとなる庁舎」が31.7%、「誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎」30.5%となっており、滋賀県を象徴するものであること、親しみやすさを重視した回答が上位となっていることがわかった。

項目	人数(人)	割合(%)
県民に親しまれ開かれた庁舎	97	37.5
滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎	83	32.0
滋賀県のシンボルとなる庁舎	82	31.7
誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎	79	30.5
県民の安心・安全な暮らしを守る庁舎	72	27.8
行政サービスや手続きのオンライン化等に対応した庁舎	41	15.8
職員の働く場所と議会機能に特化したシンプルな庁舎	33	12.7
県民同士の多世代交流、多様な県民活動の拠点を備えた庁舎	32	12.4
自然エネルギーや先進的な環境設備を活用した庁舎	28	10.8
国内外の来庁者を「おもてなし」できる庁舎	24	9.3
今のままで良い	23	8.9
産官学の連携等の拠点となる庁舎	9	3.5
その他	12	4.6



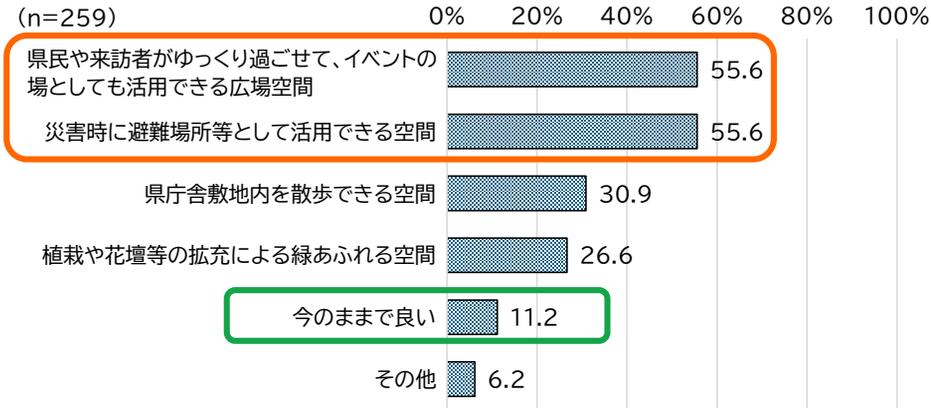
※その他の主な回答

- ・ 県の職員が快適に働ける環境の充実(厚生施設の充実等)(2件)
- ・ 執務内容の変革、変化に対応した施設(2件)
- ・ 維持管理にお金がかからない仕様の庁舎(2件)
- ・ 分庁方式
- ・ 災害時に対応できる庁舎
- ・ 価値のある建築物の外観を維持すること
- ・ 現代建築家がデザインした歴史的建造物になると良い。
- ・ 日本特有の縦割り組織に横ぐしを入れられるレイアウト
- ・ 障害を持つ方が訪れやすいような環境
- ・ 関心がない

(2)問10:滋賀県庁舎の敷地にどのような空間があると良いか(複数回答可)

- 「県民や来訪者がゆっくり過ごせて、イベントの場としても活用できる広場空間」および「災害時に避難場所等として活用できる空間」については約半数の人が必要と回答した。
- 一方、「今のままで良い」や県庁の機能に特化すべきとの意見も複数みられた。

項目	人数(人)	割合(%)
県民や来訪者がゆっくり過ごせて、イベントの場としても活用できる広場空間	144	55.6
災害時に避難場所等として活用できる空間	144	55.6
県庁舎敷地内を散歩できる空間	80	30.9
植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間	69	26.6
今のままで良い	29	11.2
その他	16	6.2



※その他の主な回答

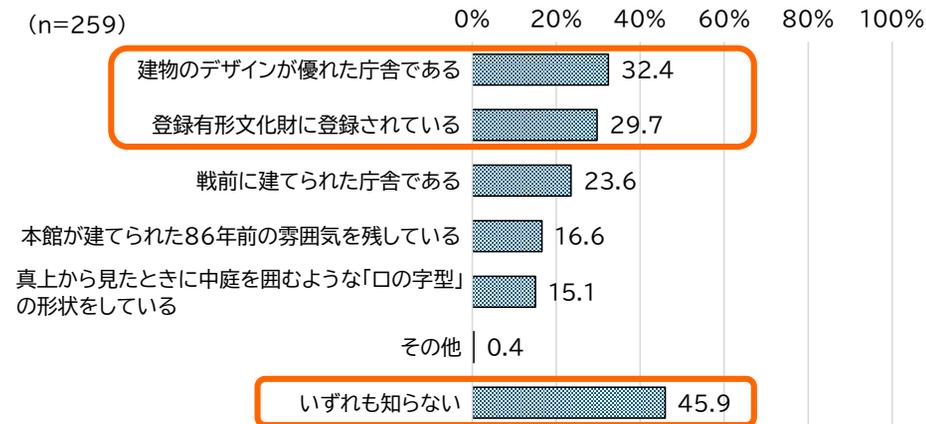
- ・ 来庁者用の駐輪場、駐車場の充実(3件)
- ・ 平常時だけではなく、災害時の対応に必要となる機能等、県庁の機能に特化すべき(3件)
- ・ 誰でも利用できる開放的なランチ&カフェの店、あるいは食堂(2件)
- ・ 大津駅前の活性化に繋がる施設
- ・ 子どもが遊ぶことができる場所

- ・ 職場体験
- ・ シンボルツリー
- ・ 災害時の駐車場
- ・ キッチンカーは不要
- ・ わからない

(2)問11:滋賀県庁舎本館について知っていること(複数回答可)

- いずれも知らないとの回答が最も多く、約半数を占める。
- 一方で3割程度の回答者が、「建物のデザインが優れた庁舎である」、「登録有形文化財に登録されている」と認知している。

項目	人数(人)	割合(%)
建物のデザインが優れた庁舎である	84	32.4
登録有形文化財に登録されている	77	29.7
戦前に建てられた庁舎である	61	23.6
本館が建てられた86年前の雰囲気を残している	43	16.6
真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている	39	15.1
その他	1	0.4
いずれも知らない	119	45.9

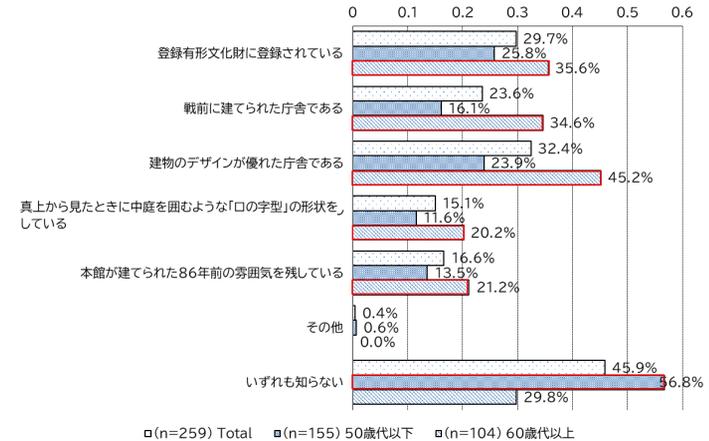


(2)問11:滋賀県庁舎本館について知っていること(複数回答可)

さらに、年代別でみると、

- 「いずれも知らない」の割合が50歳代以下の回答者で大きい。
- 全ての選択肢(その他・いずれも知らないを除く)について60歳代以上の割合が上回っており、認知度が高い。

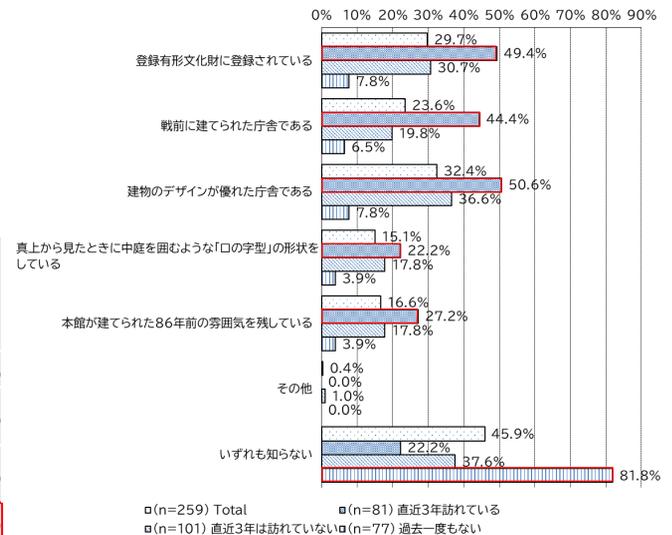
	登録有形文化財に登録されている	戦前に建てられた庁舎である	建物のデザインが優れた庁舎である	真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている	本館が建てられた86年前の雰囲気を残している	その他	いずれも知らない
Total	29.7%	23.6%	32.4%	15.1%	16.6%	0.4%	45.9%
50歳代以下	25.8%	16.1%	23.9%	11.6%	13.5%	0.6%	56.8%
60歳代以上	35.6%	34.6%	45.2%	20.2%	21.2%	0.0%	29.8%



さらに、来訪頻度別でみると、

- 全ての選択肢(その他・いずれも知らないを除く)について「直近3年訪れている」人の割合が上回っており、来訪頻度が高いほど認知度が高い。
- 「いずれも知らない」と答えた人の割合が「過去に1度も訪れたことがない」人で8割を超えており、関心度が低い。

	登録有形文化財に登録されている	戦前に建てられた庁舎である	建物のデザインが優れた庁舎である	真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている	本館が建てられた86年前の雰囲気を残している	その他	いずれも知らない
Total	29.7%	23.6%	32.4%	15.1%	16.6%	0.4%	45.9%
直近3年訪れている	49.4%	44.4%	50.6%	22.2%	27.2%	0.0%	22.2%
直近3年は訪れていない	30.7%	19.8%	36.6%	17.8%	17.8%	1.0%	37.6%
過去一度もない	7.8%	6.5%	7.8%	3.9%	3.9%	0.0%	81.8%



(2)問12:滋賀県庁舎本館の保存や活用に対するご意見

- 主なご意見は下記の通り。

保存する方がよい(56件)	・ 今の建物を保存すべき
	・ 機能性の確保
	・ 外観と機能を上手く両立させた庁舎であるべき
	・ 必要な耐震対策をした上での可能な限りの保存が望ましい。
	・ 保存するうえで本館でできない今後の行政サービス等は別館を建てて行うように計画してほしい。
・ 今の庁舎の雰囲気を残して、庁舎内を自然エネルギーを使う先進的な建物にしてほしい。	
・ 保存対象等	・ 正面玄関等、象徴的な部分の保存が望ましい。
	・ 外観の一部でも継承し、内部の特徴的な壁面・調度なども再利用を検討して欲しい。
保存しなくて良い(6件)	・ 庁舎の保存活用に大きな経費をかけるよりも、まずは子育て支援や教育、福祉に優先的に予算を配分してほしい。
	・ 維持費がかさむならば保存には賛成しかねる。
	・ 県民とのコミュニケーションを図ることができることを重点に建て替えるべき
活用方法(11件)	・ 県民の憩える空間にすること、中庭の活用(2件)
	・ 歴史資料館等、展示施設としての活用
	・ 県庁舎は、県中央部に移築し、文化の継承のため現在の庁舎を活用
	・ 観光スポットとしての活用
	・ 行政に関する外郭団体をテナントとして入居させる。
その他(19件)	・ 訪庁する機会もなく親しみがない。
	・ 大きな税金を掛けてまで建て替えは賛成しないが、建て替えるなら滋賀のランドマーク的なシンボルになる建物を期待します。
	・ 現代的なデザインに変更するよりも、歴史的な風合いを感じられる方がよい。

(1) 県政モニタートークの概要(懇話会委員から現地見学会後にいただいたご意見等との対比)

実施目的

県庁舎敷地の一体的な検討に際し、広く県民の皆様のご意見を取り入れ、県民の皆様が現在の県庁舎に対して感じている課題や、今後の県庁舎に期待される機能・役割等について聴取する。

開催日時

令和7年11月7日(金) 10:00 ~ 12:00

参加人数

県政モニター16名(欠席4名)

内容

県庁舎見学会(約50分) / グループディスカッション・グループ間意見共有(約55分)

グループワーク テーマ

テーマ①「県庁舎が抱える課題」 / テーマ②「今後の県庁舎に期待される機能・役割」



県庁舎見学会(議場)



県庁舎見学会(執務室)



グループディスカッション



グループ間意見共有

(2) 県政モニターからの主な意見(懇話会委員から現地見学会後にいただいたご意見等との対比)

滋賀県庁舎全体についてのご意見

※1 ※2

項目	主な意見	委員	モニター
立地	駅が近く便利で、琵琶湖・比叡山等周辺環境や景観に恵まれた立地	●	
	県北・西部からのアクセスや災害時対応の観点から好ましくない。		●
	✓庁舎の分散化・移転を含めた県北・西部からもアクセスしやすい立地の検討が必要		●
	✓観光部局、道路部局は県北部に配置するなど、担い手・現場に近い場所への立地が必要		●
	アクセスするための公共交通の本数が少ない。		●
	タクシーの入場可能な車寄せがあると良い。		●
動線・ 分かりにくさ・ 使われ方	大津駅からの案内が不十分で、経路・入口が分かりにくい。		●
	増築を重ねた結果、複雑・各棟の接続性が低い。	●	●
	新館の2階が入口の構造で、動線・案内表示が分かりにくい。	●	●
雰囲気・印象	本館の前庭、中庭をはじめ、屋外と建物が分離、一体的に利用されていない。	●	●
	全体的に暗い、地味。トイレが古く、印象がよくない。	●	●
ユニバーサル デザイン・ バリアフリー	エレベーター、トイレ、休憩室、案内表示、動線、段差、高齢者・障害者に配慮した空間の視点が必要	●	
	ユニバーサルデザインが最低限確保されている。	●	
	ユニバーサルデザイン、バリアフリー、ジェンダーフリーへの配慮が不十分	●	●
利用者利便	若者等に行政・県政に対する興味関心の向上・参画促進に寄与する機能が必要	●	●
	県庁の機能がよく知られていないため、行政サービスをアピールする必要がある。		●
	滋賀県の良さをアピールする機能が不十分		●
	関係事業者や関係団体の方など、来訪者が限定的。交流促進機能があると良い。		●
	市民窓口の快適性向上やICT環境整備・活用等が必要	●	●
	開かれた雰囲気の空間・憩いの空間(ロビー・自由な休憩コーナー・中庭)が少ない・魅力的でない、来訪者の居場所が限定的	●	●
	滋賀県産カフェや「映える」空間づくりなど、若者にも来てもらうための仕掛け・仕組みづくりが必要		●

※1 懇話会委員から得られた意見(以下共通)

※2 県政モニターアンケートおよび県政モニタートークで得られた意見(以下共通)

(2) 県政モニターからの主な意見(懇話会委員から現地見学会後にいただいたご意見等との対比)

建物性能(耐震・設備)についてのご意見

項目	主な意見	※1 委員	※2 モニター
老朽化	老朽化が目立つ。耐震性、2次部材や設備等の補強・改修が必要ではないか。	●	●
省CO2	CO ₂ ネットゼロの実現に向け省エネ化や再エネ導入が進んでいる。(高効率空調機器や断熱化)	●	
防災	危機管理センターの機能性が高く、安心感を得る機会となった。	●	
	危機管理センター以外の使用可能性、実際のオペレーション、駐車場の確保等の検討が必要 災害時に利用が想定される段階について万全でない。	●	●
トイレ	改善が必要、特に女子トイレの安全性確保(個室上部の間仕切り等)・洋式化・生理用品の常備	●	●
地下室	地下室の環境:浸水・漏水が発生し、安全・衛生面において課題。改装・使用停止を要検討	●	

執務空間についてのご意見

項目	主な意見	※1 委員	※2 モニター
執務環境	執務環境の質が低く現在の利用に即して改善が必要	●	●
	✓1人当たりのスペースが狭い(大量の書類・大きな決裁箱等による圧迫感、ロッカーの不足)	●	●
	✓隙間に配置された打合せスペース ✓換気・照度の確保等が不十分	●	
	✓来訪者が立ち入ることができ、セキュリティ面で課題あり	●	●
関連部署の部屋の配置(機能的・組織的)。もう少し関係が密になるよう改善すべき。		●	●
雰囲気	執務空間が閉鎖的な印象	●	
生産性向上	多様なワークスペース(懇談、集中、仕切られた打合せブース、リフレッシュ空間等)がない。	●	●
	DX化・ペーパーレス化が必要(人手不足への備え) 職員のモチベーション向上につながる空間づくりが必要。	●	●
福利厚生	職員等が休憩できる空間に乏しい。	●	
	✓地下階、屋上、中庭等使える場所に改善すべき。(安全に使える環境整備が必要) ✓食堂が狭い。(昼休みの時間帯が一斉)、県民サロン、コンビニ等も改修が必要	●	
設備面	執務室の床にコードが走るなど、OA化などに対応できておらず安全面にも課題	●	●

(2) 県政モニターからの主な意見(懇話会委員から現地見学会後にいただいたご意見等との対比)

本館の保存活用に関するご意見

項目	主な意見	※1 ※2	
		委員	モニター
価値評価	当初設計の部分と改築・改造部分が混在、歴史的建造物としての価値評価が難しい箇所も多い。	●	
	費用がかさむならば古い建物を残す必要性があるかの議論が必要		●
一般開放・収益化	登録部分(玄関・議場等)は現存で記念館として県民、国民や旅行者に開放してほしい。	●	●
	文化財の特性を活かした施設運営で収益化等の事業価値創出の可能性はある。	●	●
	窓からの景色は、琵琶湖一望ではないため観光面での商品価値があるかは微妙。	●	
認知向上	歴史や変遷が面白く、文化財としての周知・活用が必要(説明プレート、見学ツアー等)	●	●
継承・アーカイブ	建設当初の屋内の構造物等は撤去前に、画像等で保存できるとよい。	●	
	歴史的建物・構造物が一部保存され、時代背景・価値観が後世に継承されることには価値あり。	●	●
その他	レガシーとしての本館の保存活用について、中長期を見据えた維持管理コストを含めた予算計画が必要		●
	本館を活かしつつモダンなデザインを取り入れるには、有名デザイナーの力が必要	●	

その他ご意見

項目	主な意見	※1 ※2	
		委員	モニター
建替手法	既存の3棟は廃止し、執務空間を本館と上手く接合させて新築するのが望ましい。	●	
	琵琶湖と一体となった面的な開発を行うなど、総合的な検討が必要		●
	大津市庁舎と併せた合理化が望ましい。		●
授乳室	授乳室が活用しにくい場所にある。職員利用は想定しにくいので、危機管理センターに、災害時利用のデモンストレーションとしても活用できるように設置してはどうか。	●	

県政モニターアンケートについて

- 調査趣旨 県庁舎の利用に関する実態把握や認知度等を調査し、今後の県庁舎等のあり方検討の参考情報とする
- 調査対象 県政モニター 300名
- 実施期間 令和7年9月9日～9月28日
- 調査方法 しがネット受付サービスにて回答を収集

設問 0	アンケートを回答いただくにあたり、以下についてお教えてください
	氏名(ふりがな) 性別 年代 お住まいの地域
設問 1	滋賀県庁舎を訪れた頻度を教えてください(直近3年)
選択肢	① ほぼ毎日 ② 週に1回程度 ③ 月に数回程度 ④ 月に1回程度 ⑤ 年に数回程度 ⑥ 年に1回程度 ⑦ 数年に1回程度 ⑧ 直近3年は訪れていない ⑨ 過去に一度も訪れたことがない
設問 2	滋賀県庁舎を訪れる際の主な交通手段は何ですか(直近3年)
選択肢	① 自家用車 ② バイク ③ 自転車 ④ それ以外(徒歩や公共交通機関)
設問 3	滋賀県庁舎を訪れた際の主な用件をお聞かせください(直近3年)
選択肢	① 仕事 ② 会議への出席 ③ 講演会・研修会への出席、イベント参加 ④ 申請等手続き、書類・資料等の受け取り ⑤ 相談・要望・陳情・挨拶 ⑥ 庁舎見学 ⑦ 県議会の傍聴 ⑧ 施設の利用(県民サロン・食堂・公文書館・コンビニ・銀行等) ⑨ その他 ➡ ⑨ を選択された場合に記入(100字)

県政モニターアンケートについて

設問 4	滋賀県庁舎を訪れた際の平均的な滞在時間をお聞かせください(直近3年)
選択肢	① 15分未満 ② 15分～30分程度 ③ 30分～1時間程度 ④ 1時間～2時間程度 ⑤ 2時間～3時間程度 ⑥ 3時間以上
設問 5	滋賀県庁舎を訪れた際に不満や不便に感じたことは何ですか(直近3年間)
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> ① 最寄り駅からの行き方がわかりにくい ② 駐車場・駐輪場が足りない ③ 案内表示が少ない、わかりにくい ④ 建物の配置が迷路のようで、目的の部署がどこにあるかわかりにくい ⑤ 窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない ⑥ 階段や段差が多く、高齢者や障害者への配慮が足りない ⑦ 授乳室、ベビーベッドなどの乳幼児に対する設備が足りない ⑧ 気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない) ⑨ 空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある ⑩ トイレの数が少ない ⑪ 通信の環境が不十分である ⑫ 庁舎内が暗い、汚れている ⑬ 特にない ⑭ その他の不満や不便に感じたこと ➔ ⑭ を選択された場合に記入(100字)
設問 6	具体的に不便に感じた内容や改善方法等をご記入ください(任意)
	自由記述(400字)

県政モニターアンケートについて

設問 10	滋賀県庁舎の敷地内にどのような空間があると良いですか(県庁舎の敷地内とは、県庁舎建物の周囲の空間のことを指す)
選択肢 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ① 県民や来訪者がゆっくり過ごせて、イベントの場としても活用できる広場空間 ② 植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間 ③ 県庁舎敷地内を散歩できる空間 ④ 災害時に避難場所等として活用できる空間 ⑤ 今のままで良い ⑥ その他 ➡ ⑥ を選択された場合に記入(100字)
設問 11	滋賀県庁舎本館について知っていることを教えてください
選択肢 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ① 登録有形文化財に登録されている ② 戦前に建てられた庁舎である ③ 建物のデザインが優れた庁舎である ④ 真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている ⑤ 本館が建てられた86年前の雰囲気を残している ⑥ その他 ➡ ⑥ を選択された場合に記入(100字) ⑦ いずれも知らない
設問 12	滋賀県庁舎本館の保存や活用に対するご意見をお寄せください
	自由記述(400字)

Webアンケート企画内容

- 調査趣旨 県庁舎の利用に関する実態把握や認知度等を調査し、今後の県庁舎等のあり方検討の参考情報とする。

(三層構造による意見収集の実施)

レベル・手法	対象	目的・特徴
第1層(深化) 懇話会	有識者・県民等	産学金労言の幅広い分野の委員から意見聴取を実施
第2層(熟考) 県政モニター	応募者モニター	懇話会での議論等を踏まえ、アンケートや意見聴取(モニタートーク)を実施
第3層(拡張) Webアンケート	広く県内在住者	懇話会や県政モニターの意見等との比較検証を目的としたアンケート

- 調査対象 Web調査会社登録モニター 2,000名程度(目標サンプル数)
年齢層別、地域別の傾向把握も企図して、回収サンプル条件(目標設定)
【性別】 男性49~50%、女性50~51%
【年齢別】 20歳未満:5%、20代:10%、30代:15%、40代:15%、50代:20%、60代15%、70歳以上:20%
【地域別】 大津25%、湖南25%、甲賀10%、東近江15%、湖東10%、湖北10%、湖西5%
- 実施期間 令和8年2月9日~3月6日(予定)
令和8年3月上旬 実査完了(目標サンプル数の回収完了)
令和8年3月中旬~4月中 単純・クロス集計分析作業
令和8年5月中 Webアンケート結果レポート作成
- 調査方法 Web調査会社登録モニターのうち、滋賀県在住者に限定したWeb調査を実施
目標サンプル数に可能な限り到達することを目指して、アンケート調査期間を設定(約1か月間)

Webアンケート企画内容

設問 0	アンケートを回答いただくにあたり、以下についてお教えてください
	性別 年代 お住まいの地域

設問 1	滋賀県庁舎を訪れた頻度を教えてください(直近3年)
選択肢	① ほぼ毎日 ② 週に1回程度 ③ 月に数回程度 ④ 月に1回程度 ⑤ 年に数回程度 ⑥ 年に1回程度 ⑦ 数年に1回程度 ⑧ 直近3年は訪れていない ⑨ 過去に一度も訪れたことがない

設問 2	滋賀県庁舎を訪れる際の主な交通手段は何ですか(直近3年)
選択肢	① 自家用車 ② バイク ③ 自転車 ④ それ以外(徒歩や公共交通機関)

設問 3	滋賀県庁舎を訪れた際の主な用件をお聞かせください(直近3年)
選択肢	① 仕事 ② 会議への出席 ③ 講演会・研修会への出席、イベント参加 ④ 申請等手続き、書類・資料等の受け取り ⑤ 相談・要望・陳情・挨拶 ⑥ 庁舎見学 ⑦ 県議会の傍聴 ⑧ 施設の利用(県民サロン・食堂・公文書館・コンビニ・銀行等) ⑨ その他 ➡ ⑨ を選択された場合に記入(100字)

Webアンケート企画内容

設問 4	滋賀県庁舎を訪れた際の平均的な滞在時間をお聞かせください(直近3年)
選択肢	① 15分未満 ② 15分～30分程度 ③ 30分～1時間程度 ④ 1時間～2時間程度 ⑤ 2時間～3時間程度 ⑥ 3時間以上
設問 5	滋賀県庁舎を訪れた際に不満や不便に感じたことは何ですか(直近3年間)
選択肢 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ① 最寄り駅からの行き方がわかりにくい ② 来庁者用の駐車場が足りない ③ 来庁者用の駐輪場が足りない ④ 目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい ⑤ 部屋の中が見えず、入りにくい(敷居が高い) ⑥ 窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない ⑦ 階段や段差が多いなど、高齢者や障害者への配慮が足りない ⑧ 気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない) ⑨ 空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある ⑩ トイレの数が少ない ⑪ 通信の環境が不十分である ⑫ 庁舎内が暗い、汚れている ⑬ 特にない ⑭ その他の不満や不便に感じたこと ➡ ⑭ を選択された場合に記入(100字)
設問 6	具体的に不便に感じた内容や改善方法等をご記入ください(任意)
	自由記述(400字)

Webアンケート企画内容

設問 10	<p>滋賀県庁舎の敷地内にどのような空間があると良いですか ※県庁舎の敷地内とは、県庁舎建物の周囲の空間のことを指します。</p>
<p>選択肢 (複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間 ② 多世代の県民や来訪者が楽しんだり、イベントの場としても活用できる広場空間 ③ 植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間 ④ 県庁舎敷地内を散歩できる空間 ⑤ 災害時に避難場所等として活用できる空間 ⑥ 今のままで良い ⑦ その他 ➡ ⑦ を選択された場合に記入(100字)
設問 11	<p>滋賀県庁舎本館について知っていることを教えてください</p>
<p>選択肢 (複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 登録有形文化財に登録されている ② 戦前に建てられた庁舎である ③ 建物のデザインが優れた庁舎である ④ 真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている ⑤ 本館が建てられた86年前の雰囲気を残している ⑥ その他 ➡ ⑥ を選択された場合に記入(100字) ⑦ いずれも知らない

Webアンケート企画内容

設問 12	登録有形文化財にも登録されている築86年の本館について、歴史的価値や現在の利用状況を踏まえ、今後の保存や活用に対するご意見について、あなたの考えに近いものを選択してください
選択肢 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ①歴史的価値を尊重し、必要な安全対策をした上で、可能な限り全館保存すべき ②見学ツアーや県民の日常利用(貸館、中庭活用等)等により、県民に開放し、有効活用を図るべき ③県政機能としては継続活用せず、歴史資料館・観光施設等の別用途として保存・活用すべき ④登録有形文化財としての価値を分かり易く県民等に周知することが必要 ⑤正面玄関等の象徴的な部分や、文化財的価値の高い部分に限定して保存し、その他は建て替えるべき ⑥庁舎の保存・改修費用、維持費用がかさむのであれば、本館の保存・活用には賛成できない ⑦歴史的価値よりも、施設の機能性や安全性を優先して建て替えるべき ⑧その他 → 「⑧ その他」を選択された場合に記入(必須100字) ⑨特になし

職員アンケート企画内容

- 調査趣旨 職場環境としての県庁舎に関する現状と課題の実態把握等を調査し、今後の県庁舎等のあり方検討の参考情報とする。

(三層構造による意見収集の実施)

レベル・手法	対象	目的・特徴
第1層(深化) 懇話会	有識者・県民等	産学金労言の幅広い分野の委員から意見聴取を実施
第2層(熟考) 県政モニター	応募者モニター	懇話会での議論等を踏まえ、アンケートや意見聴取(モニタートーク)を実施
第3層(拡張) 職員アンケート	県職員	懇話会や県政モニターの意見等を踏まえ、職員視点の意見を把握

- 調査対象 庁内グループウェアを利用できるすべての職員
(会計年度任用職員を含む。ただし、育児休業等で回答期間中に不在の職員、
県立学校に勤務する教員、病院勤務の医師および看護師等ならびに警察官を除く。)
(約5,200名 令和7年4月1日時点)
- 調査方法 しがネット受付サービスを利用して実施
- 実施期間 令和8年1月26日(月)～2月20日(金)
令和8年2月下旬～3月中 単純・クロス集計分析作業
令和8年4月中 アンケート結果レポート作成

職員アンケート企画内容

設問 0	アンケートを回答いただくにあたり、以下についてお教えてください
	所属部局 性別 年代 職位 勤務庁舎 居住地域 通勤手段
設問 1	本庁舎に対して不満や不便に感じることは何ですか。(必須)
選択肢 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ①最寄り駅からの行き方がわかりにくい ②来庁者用の駐車場が足りない ③来庁者用の駐輪場が足りない ④目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい ⑤部屋の中が見えず、入りにくい(敷居が高い) ⑥窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない ⑦階段や段差が多いなど、高齢者や障害者への配慮が足りない ⑧気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない) ⑨空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある ⑩トイレの数が少ない ⑪通信の環境が不十分である ⑫庁舎内が暗い、汚れている ⑬特にない ⑭その他の不満や不便に感じたこと →「⑭ その他」を選択された場合に記入(必須)

職員アンケート企画内容

設問 2	これからの本庁舎に対しどのようなことを期待しますか。(必須)
選択肢 (あてはまるもの 3つまで)	①滋賀県のシンボルとなる庁舎 ②滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎 ③県民に親しまれ開かれた庁舎 ④国内外の来庁者を「おもてなし」できる庁舎 ⑤県民の安心・安全な暮らしを守る庁舎 ⑥誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎 ⑦自然エネルギーや先進的な環境設備を活用した庁舎 ⑧職員の働く場所と議会機能に特化したシンプルな庁舎 ⑨県民同士の多世代交流、多様な県民活動の拠点を備えた庁舎 ⑩行政サービスや手続きのオンライン化等に対応した庁舎 ⑪産官学の連携等の拠点となる庁舎 ⑫今のままで良い ⑬その他 →「⑬ その他」を選択された場合に記入(必須)
設問 3	本庁舎の敷地内にどのような空間があると良いですか。(必須) ※本庁舎の敷地内とは、本庁舎建物の周囲の空間のことを指します。
選択肢 (複数回答可)	① 多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間 ② 多世代の県民や来訪者が楽しんだり、イベントの場としても活用できる広場空間 ③ 植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間 ④ 本庁舎敷地内を散歩できる空間 ⑤ 災害時に避難場所等として活用できる空間 ⑥ 今のままで良い ⑦ その他→「⑦ その他」を選択された場合に記入(必須)

職員アンケート企画内容

<p>設問 4</p>	<p>登録有形文化財にも登録されている築86年の本館について、歴史的価値や現在の利用状況を踏まえ、今後の保存や活用に対するご意見について、あなたの考えに近いものを選択してください。(必須)</p>
<p>選択肢 (複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①歴史的価値を尊重し、必要な安全対策をした上で、可能な限り全館保存すべき ②見学ツアーや県民の日常利用(貸館、中庭活用等)等により、県民に開放し、有効活用を図るべき ③県政機能としては継続活用せず、歴史資料館・観光施設等の別用途として保存・活用すべき ④登録有形文化財としての価値を分かり易く県民等に周知することが必要 ⑤正面玄関等の象徴的な部分や、文化財的価値の高い部分に限定して保存し、その他は建て替えるべき ⑥庁舎の保存・改修費用、維持費用がかさむのであれば、本館の保存・活用には賛成できない ⑦歴史的価値よりも、施設の機能性や安全性を優先して建て替えるべき ⑧その他 ➡ 「⑧ その他」を選択された場合に記入(必須) ⑨特になし

職員アンケート企画内容

設問 5	あなたの職場環境について、5段階で最も当てはまる項目を選択してください。(必須)
選択肢	<p>【選択肢】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満</p> <p>≪ 執務室の環境に対する評価 ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 広さ ② 快適さ ③ 庁舎内の動線 ④ 来庁者対応スペース ⑤ 職務上の情報化対応(Wi-Fi、OAフロア化等) ⑥ 他所属との連携の取りやすさ ⑦ 空調環境 ⑧ 照明環境 ⑨ 文書保管スペース <p>【自由記述】その他、執務室環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p> <p>≪ 共用会議室※の環境に対する評価 ≫</p> <p>※大会議室・中会議室・小会議室、WEB会議室など、予約により職員が共通利用できる会議室全般を対象とします (所属専用の会議室は含みません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 箇所数 ② 部屋の広さや収容人数などのバリエーション ③ 情報化対応(Wi-Fi対応、OAフロア化等) ④ 設備の充実度(モニター、プロジェクター、スクリーン等) <p>【自由記述】その他、共用会議室の環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p>

職員アンケート企画内容

設問 5	あなたの職場環境について、5段階で最も当てはまる項目を選択してください。(必須)
選択肢	<p>【選択肢】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満</p> <p>≪トイレの環境に対する評価≫ ①箇所数 ②位置・配置バランス ③1カ所当たりの規模感(広さ・便器数等) ④機能性(設備等の充実度) ⑤清潔度 【自由記述】その他、トイレの環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p> <p>≪休憩スペースの環境に対する評価≫ ①箇所数 ②位置・配置バランス ③1カ所当たりの規模感(広さ・座席数) ④機能性(設備等の充実度、使い勝手) ⑤清潔度 【自由記述】その他、休憩スペースの環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p>

職員アンケート企画内容

設問 5	あなたの職場環境について、5段階で最も当てはまる項目を選択してください。(必須)
選択肢	<p>【選択肢】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満</p> <p>≪ 食堂の環境に対する評価 ≫ ① 箇所数 ② 位置・配置バランス ③ 1カ所当たりの規模感(広さ・座席数) ④ 機能性(メニュー等の充実度、使い勝手) ⑤ 清潔度 【自由記述】その他、食堂の環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p> <p>≪ 売店の環境に対する評価 ≫ ① 箇所数 ② 位置・配置バランス ③ 1カ所当たりの規模感 ④ 機能性(設備、品揃え等の充実度、使い勝手) ⑤ 清潔度 【自由記述】その他、売店の環境に対するご意見があればお聞かせください。(任意)</p> <p>≪ その他の環境 ≫ その他、本庁舎にあれば良いと思う機能や諸室があれば教えてください。 【自由記述】</p>

職員アンケート企画内容

設問 6	あなたの職場で、今後の社会環境や働き方の変化を踏まえ、「望ましい」と考えるオフィスのあり方・業務の進め方として推進すべきと考えるものは何ですか。(必須)
選択肢 (複数回 答可)	<ul style="list-style-type: none"> ①ペーパーレス化の推進(電子文書の活用、決裁・承認の電子化、テレワーク可能な環境整備) ②タッチレス化の推進(非接触手続き、オンライン申請等) ③ボーダレス化の推進(フリーアドレス、部門横断のコミュニケーション促進) ④オフィスの柔軟性向上(個人集中スペース等、多様な働き方に対応したスペースの整備) ⑤ウェルビーイング重視の空間設計(休憩スペース、自然採光、緑化等職場アメニティ充実) ⑥DX推進による業務効率化(AIの活用、業務プロセスの自動化) ⑦セキュリティの強化(入退室管理、執務スペースのゾーニング等) ⑧災害時のBCP(業務継続計画)に対応するための可変可能なオフィス環境 ⑨人材育成・知識共有を促すオフィスのあり方(OJTがしやすく、相談や情報共有が自然に起きる環境) <p>【自由記述】その他、設問6に関するご意見があればお聞かせください。(任意)</p>